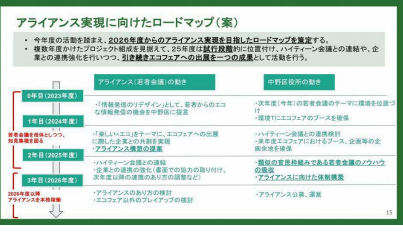


2024年中野若者会議での政策提言内容と区の対応状況

(対応方針の凡例)

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

No.	グループ	提言の要旨	担当部 (担当課)	対応方針	対応方針の説明・理由	対応・実施結果
						(2026年3月末時点)
1-1	①中高生の居場所 チーム	①来期以降の若者会議において「中高生の居場所」をテーマに活動する場合は、若者の希望や負担感に配慮して、中高生を伴走するサポートチームと政策提言チームに分ける等の工夫をお願いします。	子ども教育部 (育成活動推進課)	×	若者会議と中高生の関わりについては、イベント実施や課外活動時などにおいて参加メンバーが交流・サポートすることで、お互いの活動に相乗効果が生れることを目指していきます。中高生のサポートのみに限定したチームを設ける予定はありませんが、中高生との関わり方については当該年度の参加メンバーとも一緒に検討していきます。	
1-2	①中高生の居場所 チーム	②若者会議メンバーに中高生をサポートする役割を求める場合、その旨を募集要項に明記してください。	子ども教育部 (育成活動推進課)	○	本提言について踏まえたうえで、中高生のサポートに関する内容がわかるような募集要項を作成します。	
1-3	①中高生の居場所 チーム	③若者会議メンバーに中高生をサポートする役割を求める場合、中高生をサポートする手法やスタンスについて学ぶサポート研修を実施してください。	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	運営事業者と連携しながら、中高生のサポートに関する手法やスタンスについて学ぶ機会をどのように提供できるか検討していきます。	
1-4	①中高生の居場所 チーム	④中野若者会議のさらなる活動、発展のため、先進的な地域を視察・交流するための予算があると望ましいです。また、そうした機会に区職員の積極的な参加を希望します。	子ども教育部 (育成活動推進課)	○	令和7年度においては、これまでよりも課外活動や先進自治体の視察などに関して充実させる予定です。	
1-5	①中高生の居場所 チーム	⑤他地域の若者会議等を中野にお招きして、お互いの活動をさらに充実させるために、視察・交流できる機会があると望ましいです。	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	若者会議を充実させるために、どのような視察・交流が実施できるのかについて、令和7年度の参加メンバーとも一緒に検討していきます。	
2-1	②情報発信 チーム	①中野区についての提言 (1)中野区の情報発信のための、「意見収集のミーティング」の開催を希望します。開催にあたり、関係所管課の参加をお願いします。	企画部 (広報・広報課)	○	若者会議で開催の折には参加、協力します。	
2-1	②情報発信 チーム	①中野区についての提言 (1)中野区の情報発信のための、「意見収集のミーティング」の開催を希望します。開催にあたり、関係所管課の参加をお願いします。	区民部 (文化振興・多文化共生推進課)	○	ご提案の意見収集のミーティングを開催する予定はありませんが、ご提案を参考に、様々な手法で区民の皆さんの関わりをいただきながら進めていきます。	
2-2	②情報発信 チーム	(2)情報を集約・発信する組織「情報発信局」を設立しませんか。実現可能性がある場合、運営形態や構成メンバーなどの検討も上記(1)「意見収集のミーティング」で継続的に検討しましょう。 【中野区情報発信局(仮)概要】 ■ミッション(案) (ア)情報を区民へ届けるために、SNSやウェブページの宣伝をする(手段:駅や区役所のデジタルサイネージや転入時の口頭説明などで)。 (イ)区からの情報、区への情報の集約・一元化を行う。 例1:情報を1箇所にまとめ、工夫した発信をする(例:あらゆる中野に関するマップを1つのマップ上に表示する、HPやSNS内にたいてで案内を完結させる)。 例2:中野区関連のSNSアカウント・ホームページの統一を作成・公開する。 例3:公式LINEの活用度を高めるための活性化 例4:フィルムコミッションの活性化 (ウ)中野区の注目度を高めるため、高クオリティ・高頻度な内容の発信を行います。特に動画発信には有効性があり、効果的な活用を求めます。 ■役割:区役所内の各部署、区内の様々な団体と連携し、情報発信局をハブとしてすべての情報を集約する ■手法:会計年度任用職員や外部への委託などでリソースを確保し、コンテンツの質や頻度の向上、発信方法の工夫を行う。区職員だけでなく、広く区民からもアドバイザーボード、プロボノ実務者が参画できる仕組み・資源を準備する。	企画部 (広報・広報課)	●	デジタルサイネージやチラシ、区報等でSNSの周知を行っています。 また、区のSNSや区政情報を取得できるアプリについて、一覧のページを既に作成し、HP上で公開しています。 https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kusei/public/sns/sns.html 今年度から新たな動画編集クラウドサービスを導入し、動画での発信にも力を入れており、今後も分かりやすい情報発信に努めていきます。	
			区民部 (文化振興・多文化共生推進課)	△	運営組織については文化振興・多文化共生推進課では設立を予定していませんが、提言のあった施策(情報発信の集約、フィルムコミッション、動画発信)などについては、区民をはじめとした参加機会を設けながら促進していきます。	
2-3	②情報発信 チーム	②中野若者会議についての提言 (1)中野若者会議のロゴ作成、そのほか、若者会議ブランドとしてのブランディングを進めませんか。	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	若者会議は参加者が主体的に活動し、若者の声を地域や行政に届けていく場です。どのようにブランディングをしていくかの詳細は、当事者である参加メンバーと一緒に検討していきます。	
2-4	②情報発信 チーム	②中野若者会議についての提言 (2)会計年度にこだわらず、複数年度単位で中野若者会議の活動を継続できるようにしませんか。	子ども教育部 (育成活動推進課)	×	若者会議の事業運営委託が単年度契約であるため、年度で区切った活動としていますが、テーマに関しては次年度に引き継いでいくなど、継続して活動できる仕組みづくりについて検討していきます。	
2-5	②情報発信 チーム	②中野若者会議についての提言 (3)若者会議の提言に対する実現の進み具合のフィードバックを、年3回程度に分けて報告いただけませんか。今年度の提言が、来年・再来年とどのように進んでいくのか知らせていただきたいです。	子ども教育部 (育成活動推進課)	◎	各所管課からの上・下半期ごとの対応状況のフィードバックを若者会議へ随時共有します。なお、年度末には年間を通じた対応状況を区HPにアップしていきます。	
2-6	②情報発信 チーム	②中野若者会議についての提言 (4)中野サンプラザの今後をはじめとする駅前再開発についても意見交換をしたいので、来期の中野若者会議において都市計画やまちづくり関連のテーマを設けていただきたいと思います。	子ども教育部 (育成活動推進課) 企画部 (広報・広報課) まちづくり推進部 (中野駅周辺まちづくり課)	×	「中野駅新北口駅前エリアのまちづくり」については、区民の方々からまちづくりに関する疑問やご意見をうかがうため、令和7年2月22日に「区民と区長のオンラインミーティング」を実施しました。今後、必要に応じて区民との意見交換会等の実施についても検討していきます。 一方、中野駅周辺における市街地再開発事業については、民間事業者により実施される都市計画事業であり、若者会議のテーマとして意見交換することは馴染まないと考えますが、中野駅周辺のまちづくりに関するご意見やご不明点がございましたら、中野駅周辺まちづくり課までお問い合わせください。	
2-7	②情報発信 チーム	②中野若者会議についての提言 (5)子ども食堂の活性化を企業連携で推進する等、食育についての活動をしたいので、来期の中野若者会議において関連するテーマを設けていただきたいと思います。	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	本提言も踏まえたうえで、テーマを検討していきます。	

No.	グループ	提言の要旨	担当部 (担当課)	対応方針	対応方針の説明・理由	対応・実施結果 (2026年3月末時点)
3-1	③多文化共生 チーム	①中野若者会議のチーム分けにおいて、区へ提言することだけをゴールとするのではなく、地域を知り交流することを目的とする敷居の低いチームを設置を希望します。	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	若者会議は、若者とまちを繋ぐハブ的役割を担うことによって、若者が主体的に活動し、若者の声を行政に届けることを主眼に置いています。政策提言を行わない敷居の低いチームの設定については、若者会議のあり方も踏まえたうえで検討する。	
3-2	③多文化共生 チーム	②中野若者会議に、より多様な文化的背景を持った若者が集まるよう、募集時の情報発信の幅を広げる工夫をお願いします。	子ども教育部 (育成活動推進課)	○	参加メンバーの募集にあたっては、様々な区有施設や関係機関、大学等にチラシを配布するなど、より多くの方に情報が届くよう、引き続き工夫していきます。	
4-1	④環境×生活 チーム	①「なかエコアライアンス(仮称)」の立ち上げを目指した、ロードマップ、アライアンス構想の検討 提言書で示したロードマップに対し、実現可否など回答をいただきたいです。 	環境部 (環境課)	○	ロードマップについては、二年目までの活動は普及啓発活動として十分実施できると考えています。三年目のアライアンス、広報等については、他での事例等を研究しながら若者会議と一緒に検討していきます。	
4-2	④環境×生活 チーム	② 次年度若者会議、ハイティーン(HT)会議におけるアライアンス試行 ロードマップで示した通り、来年度は若者会議、ハイティーン会議と連携して試行的にアライアンスを形成することとしているため、体制構築等の調整をいただきたい。具体的な事項は以下の3点。 (1)若者会議における環境Tの設定 (2)HT会議における環境Tの設定、テーマ選定に際した若者会議メンバーからのブリーフィング (3)上記(2)が、今年度同様集まらないor他の事情で難しいとき)HT会議の時間外活動として、エコフェアブース参加機会の調整、告知機会の確保	子ども教育部 (育成活動推進課)	△	(1)次年度の環境チームの設定については、これまでの提言内容や若者自身の主体的な参画が継続できるかという観点も踏まえ、検討していきます。 (2)ハイティーン会議のチャレンジテーマについては、ハイティーン会議参加メンバーの意思によって設定しています。ブリーフィングなどに関しては、若者会議とハイティーン会議との関わり方の観点も踏まえて、検討していきます。 (3)ハイティーン会議の活動やイベント実施内容については、参加メンバーの意向によるところが大きいです。中高生に対する告知など若者会議の活動周知や交流については、検討していきます。	
4-3	④環境×生活 チーム	③ 来年度のエコフェアでのブースの確約 来年度試行するアライアンスの一つの目標をエコフェアの出展としているところ、来年度も引き続きエコフェアでの1ブース以上を若者会議・ハイティーン会議として確保・柔軟に企画等対応をいただきたいです。	環境部 (環境課)	○	来年度のエコフェアでのブースの確約について、配置は他の出展団体との調整になりますが、出展ブースについては確保していきます。	
4-4	④環境×生活 チーム	④ 来年度に向けた体制構築、所管課との連携 環境課の担当者がアライアンスの設立を見据えて、来年度の若者会議・ハイティーン会議に伴走する体制の構築を希望します。	環境部 (環境課)	◎	来年度の伴走する体制については、チームが充足した場合については極力協力します。	
4-5	④環境×生活 チーム	⑤ 企業協賛の取り付け協力 企業側からは、中野区役所クレジットのある依頼書等があれば幅広くに協力できる可能性は高いとの旨。若者会議への企業担当者参加などより実のある共創を実現するために、連携のあり方について柔軟な対応をお願いします。	環境部 (環境課)	○	企業の協賛、その取り付けについて、内容により可能な限り対応していきたいと考えています。	